

平成30年度

御殿場市玉穂財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

御殿場市監査委員

31 御 監 第 199 号
令和元年8月21日

御殿場市玉穂財産区 管理者
御殿場市長 若林洋平様

御殿場市監査委員 鈴木 健
御殿場市監査委員 勝間田 博文

平成30年度御殿場市玉穂財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、平成30年度御殿場市玉穂財産区特別会計歳入歳出決算及び関係書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

平成30年度御殿場市玉穂財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

- 1 平成30年度御殿場市玉穂財産区特別会計歳入歳出決算
- 2 実質収支に関する調書
- 3 財産に関する調書

第2 審査の期間

令和元年7月5日から8月20日まで

第3 審査の方法

審査は、決算及び同附属書類が関係法令に準拠して作成されているか、計数が正確に表示されているかを確認し、また、予算の執行状況等について関係職員から説明を聴取し、例月現金出納検査の結果を参考としながら実施した。

第4 審査の結果

決算及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であると認められた。また、予算の執行についても適正であると認められた。

以下、審査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。
また、執行率は 99.95% ～ 99.99% の場合 99.9% としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。
「 0 . 0 」 … 該当数値はあるが、表示単位未満のもの
「 - 」 … 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの
「 △ 」 … マイナスのもの

I 決算の状況

1 決算総括

本年度の予算執行状況及び決算収支状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

予算執行状況及び決算収支状況

(単位:円・%)

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度	比較増減	増減率
予 算 額	当 初 予 算 額	2,150,000,000	1,560,000,000	590,000,000	37.8
	補 正 予 算 額	45,000,000	225,300,000	△ 180,300,000	—
	予 算 現 額	2,195,000,000	1,785,300,000	409,700,000	22.9
歳 入	調 定 額	2,204,152,398	1,790,726,115	413,426,283	23.1
	歳 入 決 算 額	2,204,152,398	1,790,726,115	413,426,283	23.1
	対 予 算 現 額 収 入 率	100.4	100.3	0.1	—
	対 調 定 額 収 入 率	100.0	100.0	—	—
	不 納 欠 損 額	0	0	0	—
	収 入 未 済 額	0	0	0	—
歳 出	歳 出 決 算 額	1,964,616,629	1,074,205,832	890,410,797	82.9
	執 行 率	89.5	60.2	29.3	—
	翌 年 度 繰 越 額	0	0	0	—
	不 用 額	230,383,371	711,094,168	△ 480,710,797	△ 67.6
収 支	歳 入 歳 出 差 引 額 (形 式 収 支)	239,535,769	716,520,283	△ 476,984,514	△ 66.6
	翌 年 度 へ 繰 り 越 す べ き 財 源	0	0	0	—
	実 質 収 支	239,535,769	716,520,283	△ 476,984,514	△ 66.6
	単 年 度 収 支	△ 476,984,514	261,996,778	△ 738,981,292	—

(注) 1 実質収支 = 歳入歳出差引額 - 翌年度へ繰り越すべき財源

2 単年度収支 = 本年度実質収支 - 前年度実質収支

- (1) 本年度の当初予算額は 2,150,000千円で、補正予算額 45,000千円を加えた最終予算額は 2,195,000千円となり、前年度に比べ 409,700千円(22.9%)増加している。
- (2) 決算状況は、歳入総額 2,204,152千円、歳出総額 1,964,617千円で、歳入歳出差引額(形式収支)は 239,536千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源が皆無のため、実質収支は 239,536千円の黒字となっている。実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 476,985千円の赤字となっている。

- (3) 歳入決算額は 2,204,152千円で、前年度に比べ 413,426千円(23.1%)増加している。
収入率は、予算現額に対し 100.4%、調定額に対し 100.0%である。

歳入決算額の主なものは、財産貸付収入 1,291,132千円(構成比 58.7%)、繰越金 716,520千円(同 32.5%)である。

増加した主なものは、繰越金 261,997千円(57.6%)である。

減少した主なものは、利子及び配当金 1,629千円(13.1%)である。

- ① 繰越金が増加した主な要因は、前年度繰越金が増加したためである。
- ② 利子及び配当金が減少したのは、定期預金の利率が下がったことにより利子が減少したためである。

財産貸付収入のうち演習場土地貸付料は 1,240,157千円で、歳入総額の 56.5%を占めている。

- (4) 歳出決算額は 1,964,617千円で、前年度に比べ 890,411千円(82.9%)増加している。
執行率は 89.5%で、前年度に比べ 29.3ポイント上回っている。

歳出決算額の主なものは、繰出金 1,763,444千円(構成比 89.8%)、財産管理費 128,490千円(同 6.5%)である。

増加した主なものは、繰出金 1,058,696千円(150.2%)である。

減少したものは、財産管理費 174,925千円(57.7%)である。

- ① 繰出金が増加したのは、消防事業関係繰出金(火防隊運営事業補助金)の減少があったものの、総務事業関係繰出金(玉穂地区屋内プール改修事業)、土木事業関係繰出金(市民の森クロスカントリーコース整備事業)及び教育事業関係繰出金(西中学校校舎改築工事)の増加が上回ったためである。
- ② 財産管理費が減少したのは、公有財産購入費が減少したためである。

不用額は 230,383千円で、前年度に比べ 480,711千円(67.6%)減少している。

不用額の主なものは繰出金 141,895千円、予備費 66,116千円、財産管理費 17,571千円である。

なお、予備費を除く不用額は 164,267千円で、前年度に比べ 223,115千円(57.6%)減少している。

(5) 市会計への繰出金の状況は、次のとおりである。

市会計への繰出金の状況

(単位:円・%)

区 分	平成 30 年 度	平成 29 年 度	比 較 増 減	増 減 率
市 事 業 関 係 計	1,763,443,525	704,747,113	1,058,696,412	150.2
人 件 費 関 係 計	25,928,548	20,160,311	5,768,237	28.6
選 挙 関 係 計	0	0	0	—
合 計	1,789,372,073	724,907,424	1,064,464,649	146.8

また、主な市事業関係への繰出金の状況は、次のとおりである。

・総務事業関係	595,824千円
支所維持管理費	48,644千円
玉穂地区屋内プール改修事業	297,705千円
地区振興指定管理施設運営事業	147,200千円
玉穂地区広場改修事業	38,880千円
市体育館整備改修事業	25,000千円
・民生事業関係	75,324千円
・衛生事業関係	237千円
・農林水産事業関係	31,906千円
土地改良区交付事業	25,264千円
・商工事業関係	1,528千円
・土木事業関係	451,580千円
道路改良事業	37,189千円
地域計画関連道路整備事業	89,448千円
公園指定管理料	16,526千円
市民の森クロスカントリーコース整備事業	283,782千円
・消防関係事業関係	9,495千円
火防隊運営事業補助金	4,922千円
・教育事業関係	597,549千円
西中学校工事設計監理業務委託	50,277千円
西中学校校舎改築工事	353,749千円

(6) 予備費(議決予算額 66,116千円)は、本年度の執行はなかった。

II 財産に関する調書

公有財産、物品、基金の状況は、次のとおりである。

1 公有財産

(1) 土地及び建物

(単位: m²・%)

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比 較 増 減	増 減 率
土 地	12,573,958.60	12,568,488.50	5,470.10	0.0
5 財 産 区 共 有 地 (持 分 1 / 5)	14,203.00	14,203.00	0.00	—

※5財産区共有地は所有権を持分登記しているため、地積の合計に含めない。

土地の年度末総面積は 12,573,958.60m²で、新たな土地取得により 7,033.00m²増加し、売払等により 1,562.90m²減少したため、差引では前年度に比べ 5,470.10m²(0.0%)増加している。

(2) 山林

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比 較 増 減	増 減 率 (%)
山 林 (所 有) (m ²)	6,817,439.35	6,814,774.35	2,665.00	0.0
立木の推定蓄積量 (m ³)	149,645.10	147,905.07	1,740.03	1.2

① 山林

山林の年度末総面積は 6,817,439.35m²で、前年度に比べ 2,665.00m²(0.0%)増加している。これは、先述の土地の増減によるものである。

② 立木

立木の推定蓄積量は年度末現在 149,645.10m³で、前年度に比べ 1,740.03m³(1.2%)増加している。これは、主に先述の土地の増減及び生育による自然増加等によるものである。

(3) 出資による権利

(単位: 円・%)

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比 較 増 減	増 減 率
御殿場市森林組合出資金	1,200,000	1,200,000	0	—

出資金の年度末現在高は 1,200千円で、年度中の増減はなかった。

2 物 品

(単位:品・%)

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比 較 増 減	増 減 率
物 品	5	7	△ 2	△ 28.6

物品は年度末現在 5品で、財産管理用備品 2品が減少した。

(なお、物品は、取得価格または評価額が100万円以上のものについて集計した。)

3 基 金

(単位:円・%)

区 分	30年度末現在高	29年度末現在高	比 較 増 減	増 減 率
財 政 調 整 基 金	5,856,178,161	5,974,399,772	△ 118,221,611	△ 2.0

基金は財政調整基金で、年度末現在高は 5,856,178千円であり、前年度に比べ 118,222千円(2.0%)の減少となった。この内訳は、基金利子 10,778千円(うち債券利子等 9,405千円)の積み増し及び元金 129,000千円の取り崩しである。

付表 第1表 歳入予算執行状況

区 分	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収
			金 額 (C)
1 財産収入	1,332,769,000	1,340,852,693	1,340,852,693
1 財産運用収入	1,300,228,000	1,301,909,918	1,301,909,918
1 財産貸付収入	1,289,786,000	1,291,131,529	1,291,131,529
2 利子及び配当金	10,442,000	10,778,389	10,778,389
2 財産売払収入	32,541,000	38,942,775	38,942,775
1 不動産売払収入	23,610,000	24,771,485	24,771,485
2 物品売払収入	1,000	0	0
3 生産物売払収入	8,930,000	14,171,290	14,171,290
2 寄附金	2,000,000	2,000,000	2,000,000
1 寄附金	2,000,000	2,000,000	2,000,000
1 一般寄附金	2,000,000	2,000,000	2,000,000
3 繰入金	129,000,000	129,000,000	129,000,000
1 基金繰入金	129,000,000	129,000,000	129,000,000
1 基金繰入金	129,000,000	129,000,000	129,000,000
4 繰越金	716,520,000	716,520,283	716,520,283
1 繰越金	716,520,000	716,520,283	716,520,283
1 繰越金	716,520,000	716,520,283	716,520,283
5 諸収入	14,711,000	15,779,422	15,779,422
1 預金利子	1,000	163	163
1 預金利子	1,000	163	163
2 雑入	14,710,000	15,779,259	15,779,259
1 損害補償料	7,483,000	7,693,101	7,693,101
2 育林事業補助金	6,727,000	7,182,590	7,182,590
3 雑入	500,000	903,568	903,568
合 計	2,195,000,000	2,204,152,398	2,204,152,398

(単位:円・%)

入 済 額			不 納 欠 損 額 (D)	収 入 未 済 額 (B-C-D)	予 算 現 額 と 収 入 済 額 の 差 (C-A)
構 成 比	収 入 率				
	対 予 算	対 調 定			
60.9	100.6	100.0	0	0	8,083,693
59.2	100.1	100.0	0	0	1,681,918
58.7	100.1	100.0	0	0	1,345,529
0.5	103.2	100.0	0	0	336,389
1.7	119.7	100.0	0	0	6,401,775
1.1	104.9	100.0	0	0	1,161,485
—	—	—	0	0	△ 1,000
0.6	158.7	100.0	0	0	5,241,290
0.1	100.0	100.0	0	0	0
0.1	100.0	100.0	0	0	0
0.1	100.0	100.0	0	0	0
5.9	100.0	100.0	0	0	0
5.9	100.0	100.0	0	0	0
5.9	100.0	100.0	0	0	0
32.5	100.0	100.0	0	0	283
32.5	100.0	100.0	0	0	283
32.5	100.0	100.0	0	0	283
0.6	107.3	100.0	0	0	1,068,422
0.0	16.3	100.0	0	0	△ 837
0.0	16.3	100.0	0	0	△ 837
0.6	107.3	100.0	0	0	1,069,259
0.3	102.8	100.0	0	0	210,101
0.3	106.8	100.0	0	0	455,590
0.0	180.7	100.0	0	0	403,568
100.0	100.4	100.0	0	0	9,152,398

付表 第2表 歳出予算執行状況

区 分	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額		
		金 額 (B)	構 成 比	執 行 率
1 議会費	40,320,000	39,454,050	2.0	97.9
1 議会費	40,320,000	39,454,050	2.0	97.9
1 議会費	40,320,000	39,454,050	2.0	97.9
2 総務費	183,225,000	161,719,054	8.2	88.3
1 総務管理費	37,164,000	33,228,978	1.7	89.4
1 一般管理費	37,164,000	33,228,978	1.7	89.4
2 財産管理費	146,061,000	128,490,076	6.5	88.0
1 財産管理費	146,061,000	128,490,076	6.5	88.0
3 諸支出金	1,905,339,000	1,763,443,525	89.8	92.6
1 繰出金	1,905,339,000	1,763,443,525	89.8	92.6
1 繰出金	1,905,339,000	1,763,443,525	89.8	92.6
4 予備費	66,116,000	0	—	—
1 予備費	66,116,000	0	—	—
1 予備費	66,116,000	0	—	—
合 計	2,195,000,000	1,964,616,629	100.0	89.5

(単位:円・%)

翌年度繰越額 (C)	不 用 額 (A-B-C)	予 算 現 額 と 支 出 済 額 の 差 (A-B)
0	865,950	865,950
0	865,950	865,950
0	865,950	865,950
0	21,505,946	21,505,946
0	3,935,022	3,935,022
0	3,935,022	3,935,022
0	17,570,924	17,570,924
0	17,570,924	17,570,924
0	141,895,475	141,895,475
0	141,895,475	141,895,475
0	141,895,475	141,895,475
0	66,116,000	66,116,000
0	66,116,000	66,116,000
0	66,116,000	66,116,000
0	230,383,371	230,383,371

付表 第3表 歳入決算額前年度比較表

歳入

(単位:円・%)

区 分	平成 30 年 度		平成 29 年 度		比較増減 (A-B)	増減率
	決 算 額 (A)	構成比	決 算 額 (B)	構成比		
1 財産収入	1,340,852,693	60.9	1,320,993,992	73.8	19,858,701	1.5
1 財産運用収入	1,301,909,918	59.2	1,296,157,873	72.4	5,752,045	0.4
1 財産貸付収入	1,291,131,529	58.7	1,283,750,482	71.7	7,381,047	0.6
2 利子及び配当金	10,778,389	0.5	12,407,391	0.7	△ 1,629,002	△ 13.1
2 財産売払収入	38,942,775	1.7	24,836,119	1.4	14,106,656	56.8
1 不動産売払収入	24,771,485	1.1	13,449,104	0.8	11,322,381	84.2
2 物品売払収入	0	—	0	—	0	—
3 生産物売払収入	14,171,290	0.6	11,387,015	0.6	2,784,275	24.5
2 寄附金	2,000,000	0.1	0	—	2,000,000	皆増
1 寄附金	2,000,000	0.1	0	—	2,000,000	皆増
1 一般寄附金	2,000,000	0.1	0	—	2,000,000	皆増
3 繰入金	129,000,000	5.9	0	—	129,000,000	皆増
1 基金繰入金	129,000,000	5.9	0	—	129,000,000	皆増
1 基金繰入金	129,000,000	5.9	0	—	129,000,000	皆増
4 繰越金	716,520,283	32.5	454,523,505	25.4	261,996,778	57.6
1 繰越金	716,520,283	32.5	454,523,505	25.4	261,996,778	57.6
1 繰越金	716,520,283	32.5	454,523,505	25.4	261,996,778	57.6
5 諸収入	15,779,422	0.6	15,208,618	0.8	570,804	3.8
1 預金利子	163	0.0	206	0.0	△ 43	△ 20.9
1 預金利子	163	0.0	206	0.0	△ 43	△ 20.9
2 雑入	15,779,259	0.6	15,208,412	0.8	570,847	3.8
1 損害補償料	7,693,101	0.3	7,661,861	0.4	31,240	0.4
2 育林事業補助金	7,182,590	0.3	6,728,175	0.4	454,415	6.8
3 雑入	903,568	0.0	818,376	0.0	85,192	10.4
合 計	2,204,152,398	100.0	1,790,726,115	100.0	413,426,283	23.1

付表 第4表 歳出決算額前年度比較表

歳出

(単位:円・%)

区 分	平成 30 年 度		平成 29 年 度		比較増減 (A-B)	増減率
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
1 議会費	39,454,050	2.0	39,361,170	3.7	92,880	0.2
1 議会費	39,454,050	2.0	39,361,170	3.7	92,880	0.2
1 議会費	39,454,050	2.0	39,361,170	3.7	92,880	0.2
2 総務費	161,719,054	8.2	330,097,549	30.7	△ 168,378,495	△ 51.0
1 総務管理費	33,228,978	1.7	26,682,521	2.5	6,546,457	24.5
1 一般管理費	33,228,978	1.7	26,682,521	2.5	6,546,457	24.5
2 財産管理費	128,490,076	6.5	303,415,028	28.2	△ 174,924,952	△ 57.7
1 財産管理費	128,490,076	6.5	303,415,028	28.2	△ 174,924,952	△ 57.7
3 諸支出金	1,763,443,525	89.8	704,747,113	65.6	1,058,696,412	150.2
1 繰出金	1,763,443,525	89.8	704,747,113	65.6	1,058,696,412	150.2
1 繰出金	1,763,443,525	89.8	704,747,113	65.6	1,058,696,412	150.2
4 予備費	0	—	0	—	0	—
1 予備費	0	—	0	—	0	—
1 予備費	0	—	0	—	0	—
合 計	1,964,616,629	100.0	1,074,205,832	100.0	890,410,797	82.9